

演題 43. 一般検査の日・当直業務についてのアンケート (社) 千葉県臨床検査技師会一般検査研究班

○森 修治 (JFE 川鉄千葉病院) 安藤 正 (東邦大医療センター佐倉病院) 渡辺一博 (国保松戸市立病院) 古谷公英 (順天堂大学浦安病院) 久代真也 (社会保険船橋中央病院) 三谷千恵子 (成田赤十字病院) 西周裕晃 (公立長生病院)

日・当直帯に尿沈渣、髄液検査を実施している施設は少なくない。しかし、専従者以外の方は、検査をする機会が少ない事、形態検査に不慣れな事、施設内での教育の不徹底などの理由から、不安を抱えて検査を実施している事が考えられる。誤ったデータは臨床の信頼を失うばかりでなく、患者様の生命に関わる場合もあり得るので、統一化は重要であると考え。今回、日・当直帯に実施されている一般検査の現状の把握を目的とし、平成 19 年度千臨技サーベイ一般検査部門に参加した 108 施設を対象にアンケート用紙を配布し、実態調査を実施した。主な質問内容は、一般担当者の数、当直業務内容、異常所見が見られた場合の対応、専従者以外の人への教育などである。その集計結果を検討し、各施設の実施状況、問題点、今後の課題などについて報告する。

JFE 川鉄千葉病院 043-261-5111